

10月の予定

平成24年9月30日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

心の声に気づいて



戦前、オーストラリアに渡り、その後、現地の方と結婚された日本人女性の話です。女性の日常会話は英語。子どもや孫に囲まれて暮らしていましたが、この方がある日突然、日本語を話し出したのです。家族はもうびっくりです。何を話しているのか訳がわからない家族は、現地の日本人会に駆け込みました。日本語で話している内容が、日本で暮らしていた子どものころの頃の話ということが分かり、日本に居る兄弟がオーストラリアに来てゆっくと女性と回想話をする中で、記憶を取り戻し、混乱してしまった時系列も回復して元気になりました。

高齢者になると、ちょっとした変化で時系列が突然混乱し、認知症状が出ることがあります。突然変なことを言い出しても「馬鹿なことをいうな」と、怒ったり否定しないで、そのままを受け入れ、しっかりと聞いてあげて、その人の人生を理解してあげることが大事なことなのですね。

認知症は予防ができる？

新聞に精神科医が語る認知症が目にとまりました。夫が入院したのをきっかけに息子宅で暮らすことになったアルツハイマー型認知症の女性が、息子の家ではトイレの場所がわからず、あちらこちらに排泄してしまい、しばらくすると「殺してくれ」と大声をだすようになりました。困った家族は女性を施設に入れました。

この女性は、もともと家事が好きでしたが、認知症の母を気遣った息子は、何もさせないで大事

にしたのです。でも、施設では、家事を手伝ってもらうなど、再び人の役にたつことができ女性に生きがい生まれ、笑顔で暮らせるようになったそう

です。大声を出したのは、「私にもできることをさせてほしい、人の役に立ちたい」という「言葉にならない心のメッセージ」だったのですね。

人は、認知症という障害をかかえながらも幸福に生きる権利があるという前提に立って、「その人を丸ごと受け止め、受け入れ」て、「人の役に立ち、人に必要とされている」という実感も体感できたら、生きる力もわいてくるとおもいます。地域社会にとって、人生経験豊かな高齢者は、知的財産、宝の宝庫なのですから。



10月の予定

回想ガイド活動は、2日(火) 5日(金)、16日(火)、
昔の遊び体験教室は、27日(土)は、お休みします

開催場所は、歴史民俗資料館

開催時間は、13時30分～15時30分です